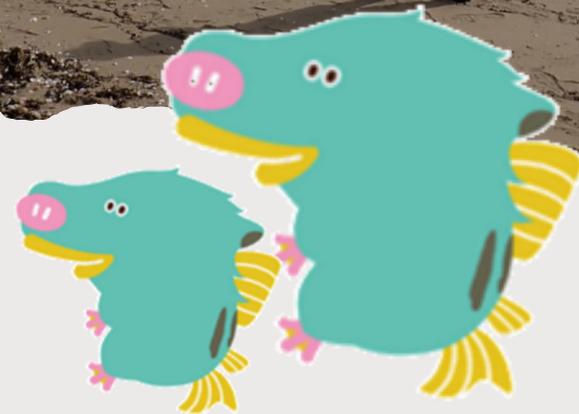




令和5年度市民部会まとめの会 活動実績と計画について



令和5年度 当初目標と活動実績

令和5年・6年の活動目標

- ①流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。
- ②地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。
- ③農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。

今後の市民部会の課題・役割

- 矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動
- 市民部会としての流域連携テーマの議論
- 地域部会の話題・課題を把握できるシステムの構築
- 10年間で新たに見えてきた課題や問題の明確化
- 懇談会とつながりの薄い農業や工業の団体との関係構築

山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる
～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～

矢作川の恵み・大切さを再認識し、より良い矢作川流域圏の再構築を目指し、平成30年度のWGで作成しました。

令和5年度 当初目標と活動実績

活動実施状況（R5）と今後の予定（R6）

活動実施状況（参加者数）		日時	場所
5月	第15回WG（16名）	5月22日（月）	・ 豊田商工会議所
7月	第16回WG（14名）	7月11日（火）	・ 豊田市崇化館交流館
9月	第17回WG（17名）	9月8日（金）	・ 豊田市崇化館交流館
9月	バスツアー（延べ32名）	9月13日(水),14日(木)	（矢作川流域）
1月	第5回まとめの会	1月10日（水）	・ 豊田市崇化館交流館

今後の活動予定		日時	場所
R6年4月活動	第18回WG	5月	未定
5月活動	第19回WG	7月	未定
9月活動	市民部会まとめの会	9月	未定

令和5年度 当初目標と活動実績

公開講座の実施に向けた計画・準備 (テーマ①)

○流域全体に関わる課題 (テーマ) について、これまでの実施状況を下記に示す。

時期	テーマ	実施状況
令和3年7月	マイクロプラスチック	市民部会企画で公開講座を開催 「プラスチックが生き物を苦しめている」
令和3年11月	ネオニコチノイド系農薬	市民部会企画で公開講座を開催 「アカトンボが危ない！ いま、水の中で何が起きているのか」
令和4年8月	「三河湾の水産資源」 「栄養循環・物質循環」	市民部会提案→海部会企画で公開講座を開催 「豊かな海の栄養源～きれいな海は豊かな海か？～」
令和5年1月	「47災害から50年」	市民部会提案→山部会企画で情報共有を実施
令和6年2月	富山理論・流域思考	市民部会企画で公開講座を開催 (予定) 「川がつなぐ私たちの未来 ～知らなかった山・川・里・海のつながり～」

○本年度の実施状況について

- ・流域圏が生業の場である「農業」に関して、有機農業や持続可能な農業などの取り組みについて情報共有を行い、公開講座の内容について意見交換を行った。
- ・一方で「流域」の概念を市民に伝えることが市民部会が開催する公開講座の役割として重要であるという議論から、俯瞰的に捉えた流域の解説を公開講座で行うこととなった。
- ・公開講座は2/12 (月・祝) の午後、豊田市産業文化センターでの開催する。
- ・2/1(木)13:00～ の部会連携調整にて最終確認を行う

令和5年度 当初目標と活動実績

公開講座の実施に向けた計画・準備 (テーマ①)

○主なプログラム

- ・ 基調講演Ⅰ. 富山理論から「健全な流域圏」を考える
流域とはなにか、森や川などの役割と危機など、流域の要素について説明（事務局・松沢より）
- ・ 基調講演Ⅱ. 「流域思考」をわかりやすくつたえていくために
国内外の事例から流域単位で思考することの意義を説明（NPO法人 泉京・垂井の神田浩史氏を招待）
- ・ ディスカッション（車座形式での議論の場を用意）

タイムスケジュール

時間	内容	担当者（役割）	
12:30	受付開始、誘導	・アジア航測（全体補助）	
13:00	第1部 開会挨拶	・近藤氏（司会） ・光岡氏（開会挨拶）	
13:10	第2部 基調講演Ⅰ 富山理論から「健全な流域圏」を考える	・松沢氏（講師/トンボ研究所）	
13:50	第3部 基調講演Ⅱ 流域思考をわかりやすく伝えていくために	・神田氏（講師/NPO法人 泉京・垂井）	
14:30	休憩	（車座のセッティング）	
14:45	第4部 ディスカッション	①話題提供 （14:45～14:55）	・神田氏、洲崎氏（コーディネーター、 まとめ役）
		②自由討論・まとめ （14:55～16:25）	
16:25	第4部 閉会挨拶	・蔭山氏（閉会挨拶/豊橋河川事務所）	
16:30	アンケート回収、撤収作業	・アジア航測（全体補助）	

令和5年度 当初目標と活動実績

地域部会合同でのバスツアー（テーマ②）

- 地域部会間の共通認識の隔たりを補完することを目的として、他部会に紹介したい矢作川流域の団体や場所を巡るバスツアーを開催した。
- 9/13,14 の2日間で延べ32人が参加した。
- アンケートの回答者全員が「所属外の部会で中心命題としている矢作川流域の課題を『知ることができた』もしくは『少し知ることができた』』と回答した。

【アンケートの内容を一部紹介】

- ・ 山、川、海それぞれに課題があり、全体の協力が必要だと感じた。
- ・ 他部会員との議論が良かった。
- ・ バス移動中の各座長から解説や見解、現地での質疑応答は課題を知る・考える糸口となった。
- ・ ツアーで感じたこと、考えたことについて、意見交換の場が欲しい。



バスツアー訪問先位置図



東幡豆海岸にて

令和5年度 当初目標と活動実績

新たなつながり (テーマ③)

- オーガニック給食の推進に関する取り組みを実施しているFood for Children愛知 Food for Children安城の関係者へ取材を行った。
- バスツアーには、大学生2名（愛知工業大学、三重大学）が参加した。
- 流域連携イベントとして、下記3つのイベントに参加した。

イベント	日時	場所
2023年矢作川感謝祭	9月10日（日）	千石公園（豊田大橋下）
第25回“いい川”・“いい川づくり” ワークショップ in東北	9月29日（金）	エクスカーション：四ツ谷用水 （仙台市 広瀬川）
	9月30日（土）	公開選考会：東北大学
	10月1日（日）	青葉山キャンパス
第10回三河湾大感謝祭	10月14日（土）	LaLaGran（三河田原駅）



矢作川感謝祭の様子



いい川づくりWS
エクスカーションの様子



いい川づくりWS
公開選考会の様子



三河湾大感謝祭の様子

令和5年度 当初目標と活動実績

新たなつながり (テーマ③)

①

公開講座に向けて 農業に関する勉強会の実施

2023.5.22

「みどりの食料システム戦略」勉強会

～みどり戦略を知ろう、考えよう～

2022.7.20 松沢孝晋

- 1: 農業をテーマとした経緯
- 2: 「みどり戦略」を知る
- 3: 流域圏懇談会活動に関連する「みどり戦略」の取組
- 4: みどり戦略の流域への展開について
- 5: 公開講座に向けて

<参考資料>

- ・みどりの食料システム戦略(本体) (令和3年5月 農林水産省)
- ・みどりの食料システム戦略 参考資料 (農林水産省)
- ・どう考えるか「みどりの食料システム戦略」(農文協ブックレット)
- ・水田の居場所 イネをめぐる多様な居場所 (矢野直二書 東海大学出版会)

1/27

オーガニック給食の推進に関する取り組みを
実施しているFood for Children愛知や安城の
関係者との新たな交流 (2023.7.18)



②

いい川・いい川づくり ワークショップへの参加

2023.9.30-10.1



多摩川流域懇談会との交流
(2023.11.7-8多摩川源流ツアーに矢作川より5名参加)
2024年より本格的に交流していく予定



部会の取組みが
新たなつながり
の創出になった

令和6年度全体会議に向けた活動計画

令和5年・6年の活動目標

「流域連携」をテーマに以下の3つの活動目標を設定（第4回まとめの会）

活動目標

①流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。

- 2月の開催に向けた詳細なプログラムの検討、講師・会場との調整などを行っている。

②地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。

- 9月に実施したバスツアーの結果を整理し、次年度以降の実施の検討と、実施する場合の内容について、アンケート結果・地域部会の意向などを踏まえて意見交換を行う。

③農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。

- 公開講座については、大学生や一般市民に向けた情報発信について意見交換を行う。
- 流域圏懇談会の活動と関連する団体・個人への訪問・招待やイベント参加などを引き続き行っていく。

令和6年度全体会議に向けた活動計画

公開講座の実施

○流域全体に関わる課題について、これまで下記のテーマが挙げられた。

テーマ	実施状況
マイクロプラスチック	市民部会企画で公開講座を 開催
ネオニコチノイド系農薬	市民部会企画で公開講座を 開催
「三河湾の水産資源」「栄養循環・物質循環」	市民部会提案→海部会企画で公開講座を 開催
「47災害から50年」	市民部会提案→山部会企画で 情報共有を実施
富山理論・流域思考	市民部会企画で公開講座を 開催 （予定）
農業と環境	市民部会で 勉強会を企画・実施
上下水の市民科学	
マイクロプラスチック第2弾	開催について検討中
ネオニコチノイド系農薬第2弾	

○これまでに4回の公開講座を提案・実施（予定含む）

○47災害については、山部会内での議論に落ち着いている

○このほか、「富山理論・流域思考」の第2弾として、都市と流域の関係性（都市のいいところ）というテーマが挙げられている